

## 第一回 BT 戦略推進官民会議における

日本バイオ産業人会議 歌田世話人代表 挨拶

総括的な話をさせていただきたいと思います。まず、この会議を開催していただきまして、関係大臣、大変ご多忙の中、ご出席をいただいたことに厚く御礼を申し上げますと同時に、大いに期待を申し上げたいと存じます。

日本の将来に科学技術の振興はぜひ必要でございます。科学技術基本計画の重点項目の第1にライフサイエンス、バイオテクノロジーが挙げられておりますが、今の状況につきまして、私は大いに心配をいたしておるのでございます。バイオの市場規模を調べてみますと、2001年から2006年の5年間で、日本は139%となっております。その間の日本のGDPは110%でありますから、かなりいいということが言えますけれども、その間、アメリカは219%、欧州は153%、カナダやアジア太平洋地区は約300%という伸びを示しております。研究開発面でも国際競争の面で決して優れている状況とは言えないと思いますけれども、それ以上にその産業化になると非常に進まない。社会に還元されるのが弱い、こういう点がございまして、これにつきましては、数々の原因がありますけれども、既得権益との競合とか、あるいは国民理解が進まないということも大きな原因だと存じております。科学的な安全は、必ずしも一般国民にとっての安心にまで結びつかないという点があると思います。

この改善のためにはパッチワーク型ではなくて、基本的な問題点を掘り起こして、それもまた利用者側の観点で掘り起こす必要がありますし、そこから具体的な施策を考えていくことが必要だと思っております。

バイオに関しましては、多くの官庁、学会、産業界が関係しておりまして、その総合化、融合化が必要であります。また相当思い切ったイノベーションが必要であります。それには各省の大臣、政治家の先生方に参加していただくことが非常に大事だと思っております。

医療、医薬、医療機器等は前から取り上げていただいておりますが、最近とみに食料資源の問題、食品の諸課題、あるいはことし洞爺湖サミットが開かれます環境の問題、バイオエネルギー、バイオマスと課題が多く見直しも必要であります。

前のバイオ戦略大綱の見直しの修正ということではなくて、新しいBT推進重点戦略を、ぜひことし中に策定したいとお願いいたします。

我々産業界からも積極的に意見を出したいと思っております。そのために産業界横断的なプロジェクトチームを設置し、活動を開始いたします。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

以上